

自己実現への道

第40回 ー 第1章 能力の走行距離は無限大に伸びる（その2）ー

●頼まれ事にはおまけをつけて応じる・・「1 マイル行ってくれと頼まれたら、2 マイル行っただけなさい」という聖書の言葉がある。しかし、自分の計画は既に決まっており、さらに 1 マイル追加するということは非常に難しいことである。相手にはどう映っているだろうか。絶対に譲歩しない人間に出会ってイライラすることがあるが、こういうとき「協調的態度の重要性」を痛感するものだ。「国策が人間に優先する」というイデオロギーの国もあるが、これが非協調性を産み出し、国民の自由を奪う原因となっている。民主主義の世界では、「他人のために尽くすことによって、自らも満たされる」という見えざる真理により繁栄がもたらされるのである。

●いくつもの才能を活かす能力・・偉大な事業をなしとげた人々は、短時間のうちに多くのことを完成する能力を持っている。すなわち、自分だけでなく他の人と協力して成し遂げる能力のことである。腹を決めて他人に任せることが重要なのである。自分を信じ、他人を信じ、権限や責任を委譲することである。心底信頼し、責務を分かちあうことを目指すが、うまくいかないことも多い。「完全にやることにこだわって何もしないよりは、不完全でも何かを成就する方が賢明である」一人だけの才能ではなく、いくつもの才能を活かすことが重要だ。人を信頼して任せる勇氣を持たなくてはならない。

●人生のでこぼこ道も利用次第・・人生の道はいつも平坦とは限らない。心を揺さぶる様々な出来事に出会ったとき、これを自分の人生を見直す好機として捉え、前向きな物の見方を身につけることができる。目標に到達するまでの道はいつでも険しい。しかし、あなたはその険しい道を乗り越えていくことができることを忘れてはならない。せっかく途中まで頑張ったのに諦めて放棄するのは愚かなことである。この険しい道を負わずに進むことによって人生は大きく発展するのだ。

●本当の負け犬はいない・・米国 UCLA のバスケットボールのコーチの有名な言葉に「本当の負け犬なんて、めったにいないね。だが、人を非難するようになったらおしまいだ。負け犬だよ」がある。人生にはいろいろな問題があるが、どんな問題にも必ず解決の手段がある。★問題解決にはためらうことなく、直覺的に、一途に、懸命に取り組む。★問題を問題として捉えず、成長の好機・チャンスと捉える。★いい加減で消極的な考えはきっぱりと拒絶し、信念を持って問題に取り組む。そうすれば・・必ず道は拓ける。

●覚悟が決まったら、今すぐ仕事に着手して問題を処理しよう・・問題を解くための最大の問題点は、実は問題に取り組む自らの姿勢なのである。「これはすごく手強い。到底無理だ」ということでも全力で取り組めば、案外解決できるものなのだ。「人生には、あなたが突破できない障害なんて、実はありはしないのだ」体験を積み、信念を深めることにより、そのことが理解できるようになるだろう。

●あなたには頭脳といういいものがある・・あなたが窮地に陥ったとき、あなたはきっと、そこから抜け出すためにいろいろと考え、工夫するだろう。大変な苦労もあるだろうが、考え、工夫するということは楽しいこともある。「人生とは楽しいものである。何か不可能と思われることに出会ったら、別の新しい道を探索したり、新しい方策がないかと考えてみることである」頭脳とは素晴らしい道具だ。だから、誰でも発明家になることができる。問題解決に役立つ新しいアイデアを産み出すことができるのだ。自分自身のためになり、同時にすべての人になるものは何か、をいつも念頭に置いて問題解決を考えることが重要である。「ほとんどの人は自分の才能や能力の 25%しか使っていない。あなたはもっと多くの仕事ができるのだ」

<MIKO>

□ 参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より